

としょがんだより

はっこう
おうみはちまん
しりつとしょかん

ししょが えらんだ えほん

のはらで よみたい えほん

○『クマダさんのどんぐりコーヒー』
はやし ますみ／作
(アリス館)



くまのクマダさんは、引っ越しをしてきた町になかなか馴染めず寝てばかり。ある日、ふるさとの森のどんぐりコーヒーがなつかしくなったクマダさんは、どんぐりコーヒーを入れてみます。すると、あたりにコーヒーのいいにおいが広がり、次から次へとクマダさんの家にお客さんがやってき始めます。(にしかわ)

みずのなかで よみたい えほん

☆『マメクジらくん、海へいく』
やました はるお ぶん
山下 明生／文
(偕成社)



小さなナメクジのマメクジらくんは、親せきに会いにいったままだも戻ってこないおじいさんをさがすため、海をめざしてひとり旅に出ました。マメクジらくんが舟で川を下っていると、ヒキガエルにぶつかり背中に乗かってしまいます。マメクジらくんはヒキガエルの舌ですくわれ、のどのおくにほうりこまれてしまいます。(つだ)

そらで よみたい えほん

○『くもくん』
いとう ひろし／さく
(ポプラ社)



空の上から町の様子を見ているくもくん。乗り物や動物など、みんな決まった形をしています。くもくんは、自分だけの形がないことに悩んで、ひこうき、ライオンといろいろな形を真似してみますが、風に吹かれてすぐに崩れてしまいます。そんなとき、子どもたちがくもくんを見つけ、どんどん変わるくもくんの形のあてっこをして遊びはじめます。(あだち)

☆『チイの花たば』

もり えと さく
森 絵都／作
(岩崎書店)



小学生のチイの夢は花屋になることです。でも、花屋になるには花たちによる試験に合格しなければなりません。ある日、チイは春夏秋冬の花がいつにさくふしぎな花畑に迷いこみます。そこにいた動物たちは、花束が作れず困っていました。そこでチイは、動物たちのために元気になる花束やのんびりできる花束など、ちょっとかわった花束づくりに挑戦します。(おくむら)

◆『岸辺のヤービ』

なしき かほ さく
梨木 香歩／作
(福音館書店)



ある日のこと、寄宿学校の教師をつとめる“わたし”は、学校近くの沼地で不思議な生きものに会いました。小さなカヤネズミほどの大きさをした“彼”は全身ハリネズミのような毛でおおわれていて、わたしと目が合うと、驚いたような表情をしてみせたのです。それがわたしと“彼”ことクワイ族の少年、ヤービとの出会いでした。(みつい)

◆『竜が呼んだ娘』

かしわば さちこ さく
柏葉 幸子／作
(講談社)



10歳のミアは、竜に連れられ辺境の村から魔女の住む王宮にやってきます。ミアはそこで幽霊屋敷の召使いとして働くこととなりますが、主人の姿は見当たらず、おじいちゃんや、まいばんな、ごえひび、無人の部屋には毎晩泣き声が響いていました。ところがある日、ミアは幽霊の正体が魔女に呪いをかけられた騎士だと知ります。魔女の呪いをとく方法を探すため、ミアは竜にのって各地をめぐる旅にでるのでした。(おくむら)

○♥『まちにはいろんなかおがいて』
ささき ぶん しゃしん
佐々木 マキ／文・写真
ふくいんかんしよてん
(福音館書店)



身のまわりにあるマンホールや、建物のかべ、公園の遊具などをじっとながめっていると、なんだか顔のように見えてくることがあります。この本には、そんな町にひそみ、いろんな顔がのっています。この本を読んだ後は、見なれた町の景色が少し変わって見えるようになるかもしれません。(こじま)

はちっこぶく号 巡回!!

としょがんにこれなくともほんをかりてもらえるように、はちっこぶく号でいろんなところをまわっています。
八幡巻のそく コミュニティセンター、サン・ビレッジ 近江八幡、フレンドマート安土店・八幡鷹飼店など。

リクエストに あわせて ほんを えらぶので、おきがるに、ごそうだんください。

まちで よみたい えほん

♥☆『さかさ町』

F. エマーソン・アンドリュース／作
いわなみしよてん
(岩波書店)



リッキーとアンの二人のきょうだいは、おじいちゃんの家に向かう途中、乗っていた汽車が止まってしまう、知らない町で一泊することになります。その町の名前は、「さかさ町」。ここでは、あらゆるものが真逆さになっていました。家の屋根は下にあり、野球は得点が少ないチームの勝ちで、物を買う時にはお金がもらえます。他にはどんなものが「さかさ」なのでしょう。(いわい)

1月の巡回はお休みです。
2月の巡回をお待ちください。



こんげつの むかしだなし

かさじぞう 瀬田 貞二／再話 赤羽末吉／画 (福音館書店) にほん	ゆきむすめ 内田 莉子／再話 佐藤 忠良／画 (福音館書店) ロシア	みるなのくら おさねとしお／再話 赤羽末吉／再話 (福音館書店) にほん	ルンペルシュティルツヘン ホルン・ガルトン／絵 (童話館) ゲリム
--	---	---	--



こんげつのとしょがんだよりは、ためはらさんがつくったすてきなとしょがんだよりをさんこうにつくりました。
ためはらさんの「としょがんだより」は、はやしあみさんの製作絵本、
『ためはらさんのどこでとしょがんだより』(偕成社)にのっています。ぜひよんでみてください。



● おしらせ ●
今年も村松報恩会さまから、本を寄贈いただきました。児童コーナーに展示しているので、ぜひ借りて読んでください！
この情報は、はやしあみさんからデザインをお借りして作成しました。ありがとうございました！